

（いりおすの根っ）理念	いりおすは 陽だまりのようなほっこりあたたかい場所。ひとり一人がお互いを想い、寄り添い、できあがりました。 人を大切にしてくださった、いりおす。ありのままを受け入れ、寄り添います。 いい所探しが得意なスタッフばかり。 得意な部分を見つけたらさらにのびしていきます。 あせらず 急がず 比べない。そんな心持ちを大切にします。 こども、家族、スタッフ、みんなにおひさまが当たるように。 そしてそれぞれ個人が、おひさまのようにひかり輝けるように。
支援方針	いりおすの考える療育とは発達凸凹を平らにすることではありません。障害や心身の発達に気がかりのあるこどもたちのそれぞれの歩み方に 添いながら 特性に応じた支援を行い日々の生きづらさを和らげ 自分の人生を生き 社会参加を目指せるよう支援します。 支援の提供に際しては以下を基本方針とします。 ①必要な玩具・教材・絵本等・製作道具などをコーナー設定し自ら活動を選ぶことを大切にします。「させる」支援ではなく「～したい」という気持ちを育て 指導員は伴走したり 一緒に楽しんだりしながら関係を築き その子の「得意!」「好き!」など強みを伸ばします。 ②お友だちとの関りを大切にし自分の気持ちを伝えたりお友だちの気持ちに気付いたり関係を築く練習をします。指導員は言葉を代弁したり気持ちを橋渡しします。 ③発達の状態や歩み方の状態により個別支援が必要な場合はその子に合った個別支援の時間を設けます。

◆サービス提供時間 ※必要に応じて延長等あり
・月曜日から金曜日まで １０：００～１７：００ ・土曜日 学校等休業日 １０：００～１６：００ ◆送迎実施の有無 あり

本人支援	健康・生活	【望む姿】 ・安心できる環境の中で友だち 指導員等と関わりながら 健康で安全な生活に必要な習慣や心の持ち方や 行動の仕方を身につける。 ・自分の身のまわりのことに気付き 生活に必要なことを行ったり 見通しをもって行動する。 ・健康を維持するために体調管理の意識を持つ。 【支援の内容】 ・健康状態の維持や向上 生活習慣や生活リズムの確立 基本的な生活スキルの獲得に向けて それぞれの発達の状態と歩み方また健康面に配慮しながら支援する。 ・強制されるのではなく「やってみよう」「やってみたい」という自らすすんで行う気持ちが育まれるよう環境を整え 健康な生活を獲得できるよう支援する。
	運動・感覚	【望む姿】 ・活動や労働 遊びを通して楽しみながら身体を動かし 必要な筋力・身のこなしなど様々な身体能力を身につける。 ・戸外でも 室内でも十分に身体を動かし 身体を使って遊ぶ楽しさや心地良さを経験し 体力や感覚を身につける。 【支援の内容】 ・戸外遊びや リズム遊びを行い 楽しみながら身体能力やバランスを身につけられるよう支援する。 ・様々な素材を準備し 触れることで楽しみながら学んだり 五感を養えるよう支援する。 ・感触遊びを行い手先の感覚を高めたり身体の使い方を学び 生活に生かせるよう支援する。
	認知・行動	【望む姿】 ・活動や遊びを通して やってみたいことを行う反面 思い通りにならないこともあることを知り 自分の気持ちと向き合い 折り合いをつける力を身につける。 ・様々な活動や労働を経験して自己肯定感を持ち「働くこと」の価値を知り 意欲を持てるようになる。 ・お友だちと生活空間を共有することを理解し 受け入れることができるようになる。 【支援の内容】 ・主体的 能動的に活動に関わり 自己決定 自己選択ができるようになると共に 調整力や自分で考える力を養えるよう支援する。 ・ひとり一人の特性をよく知り それぞれが十分に様々な経験ができるよう物的・人的環境を整える。 ・友だちと協力して遊ぶ環境を整え 自己調整力や問題解決能力の基礎を養えるよう支援する。 ・「色」「形」「かず」「ことば」などを活動や遊びの中に取り入れ 課題を提供しながら 認知面に働きかける。
	コミュニケーション	【望む姿】 ・自分の気持ちやしてもらいたいことを身近な大人やお友だちに伝えられるようになる。 ・表現する楽しさを知る。 ・文字や言語の理解。 ・伝わる経験や楽しさを知り 言語 コミュニケーションの力を身につける。 【支援の内容】 ・お友だちとのやり取りが増えるよう 橋渡しをしたり 繋がるような言葉がけを心掛ける。 ・絵本や本 歌 を通して言葉の楽しさを知ることができるよう支援する。 ・ルールのある集団遊びを通して コミュニケーション力を育む。 ・地域交流やお買い物に出かけ 外部の人ともやり取りを楽しめるよう支援する。
	人間関係・社会性	【望む姿】 ・お友だちとのトラブルや思い通りにならない経験を通し 自分の気持ちを整理し調節できるようになる。 ・自分の意思をもって頼りたい人 遊びたい人 を選べるようになる。 ・身近な大人やお友だちとの関りの中で 自分の気持ち 他者の気持ちに気付けるようになると共に 協働する力を持てるようになる。 ・自分で選ぶ力をつけ やり遂げた経験を積みながら やりたいことをやるために必要な行動や準備を判断できるようになる。 【支援の内容】 ・愛されている 守られている という身近な大人との関りの中で育まれる 心理的な絆を形成する。 ・生活や活動 遊びを通して社会性が身につくよう支援する。 ・集団遊びや ルールのある遊びを通して言葉での伝えあいや お友だちとのやり取りを学べるよう支援する。 ・地域との交流や世代間交流 地域交流などを通して 他者との関係を築く方法を学べるよう支援する。

家族支援	ご家族や背景 環境などにおいて支援を行います。 ・相談支援 ・懇談会 ・児童発達支援管理責任者や指導員とのおしゃべりサロン開催 ・ご家族同士が繋がれるイベント開催 など	移行支援	利用児童のライフステージに伴う円滑な支援を行います。 ・就学 進路に向けた相談支援 ・移行に向けて 発達や歩み方 支援内容等を関係機関と共有 連携 ・移行に向けてご家族同士が繋がれるような懇談会開催 ・移行先との情報共有や連携
地域連携支援	地域での支援や連携において取り組みを行います。 ・利用児童の所属校との情報連携 ・近隣の学校や会社への訪問や見学や交換研修 ・行政や関係機関との情報共有や連携	職員の向上	職員の質の向上や研修などにおいて取り組みを行います。 ・事業所内研修 外部研修 ・新任 中途 など年代別研修 ・改善点などを踏まえた事業所内会議 など

◆主な行事
お誕生日会 季節の行事 家族参加型のイベント 食育プログラム お出かけ 卒園プログラム など （行事ではないけれど）避難訓練